

山形大学人文学部

人間の多様な文化と社会科学について学ぶ。

人文学部 法経政策学科 教授

しもだいらひろゆき

下平裕之

地域資源を活用した、市民による地域づくり

市民による社会問題の解決へ

私の主な研究テーマは「イギリスにおける経済学発展の歴史(経済学史)」ですが、イギリスでは昔から、さまざまな社会問題を市民が協力して解決するという考え方が大きな力を持っていました。今日本でも、福祉や地域活性化といった私たちにとって身近な社会問題を解決する際に市民の力が重視されるようになってきていますので、これらの問題に対し市民がどのように取り組むべきかということを考えています。

地域資源と地域づくり

現在の具体的な研究課題は「地域資源を活用した、市民による地域づくり」です。地域資源とは、それぞれの地域を特徴づけて

いる風土、景観、食べ物、伝統などを指していて(このパネルの写真は山形市の地域資源の一つである「山形五堰」で撮影しました)、これらは地域の個性であると同時に、そこにしかない観光スポットやヒット商品を作り出すことにより、観光客を増やしたり新たな雇用を生み出すことを通じて地域の活性化にも役立ちます。

地域を担う人づくり

地域資源を活用するには、その価値に気づき活用のためのアイデアを出すことができる人材が不可欠です。講義や演習、市民向け講座などを通じて、地域資源をどのように発見し活用するかについての方法を、さまざまな人達との交流を通じて日々考えています。



人文学部「地域づくり特別演習(一)」風景(金山町)



市民によるまちづくり構想の発表(長井市)



学生と地域住民との共同による地域資源マップの作成(川西町)



学生のアイデアで地域資源マップをすくろくしました(川西町)